

【記載例】

実践型人材養成システム実施計画

- 1 訓練コース名 ソフトウェア開発者養成コース
  
- 2 訓練実施機関 実習等(OJT):株式会社実践  
座学等(Off-JT):ABCD株式会社
  
- 3 座学等(Off-JT)訓練実施場所  
※①実施計画認定申請書(様式7号)の第1(3)②に記載した住所と実施場が異なる場合に記載する。  
※②申請事業主の施設を利用する場合は、賃貸借契約書、誓約書の写し及び見取図を添付すること。  
  
〇〇県〇〇市1-2-3  
(株式会社実践の会議室を使用)
  
- 4 訓練期間 平成年30年4月1日～平成30年9月30日
  
- 5 訓練時間 900時間  
(うち、OJT:600時間、Off-JT:300時間)
  
- 6 訓練の対象者数 1人
  
- 7 教育訓練目標  
システムインテグレーションのソフトウェア開発において、プログラミング、ソフトウェアテストができる能力を習得させ、これにより、将来、当社のソフトウェア開発部門の中核となる人材を育成する。
  
- 8 教育訓練カリキュラム(教育訓練の教育課程又は職業訓練の訓練課程)  
別添1のとおり
  
- 9 職業能力の評価の方法(ジョブ・カード様式 3-3-1-1(職業能力証明(訓練成果・実務成果)シート(企業実習・OJT 用)))により評価する。なお、「Ⅲ技能・技術に関する能力(2)専門的事項」は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構「日本版デュアルシステム訓練終了後の評価項目作成支援ツール」から作成した。
  
- 10 備考